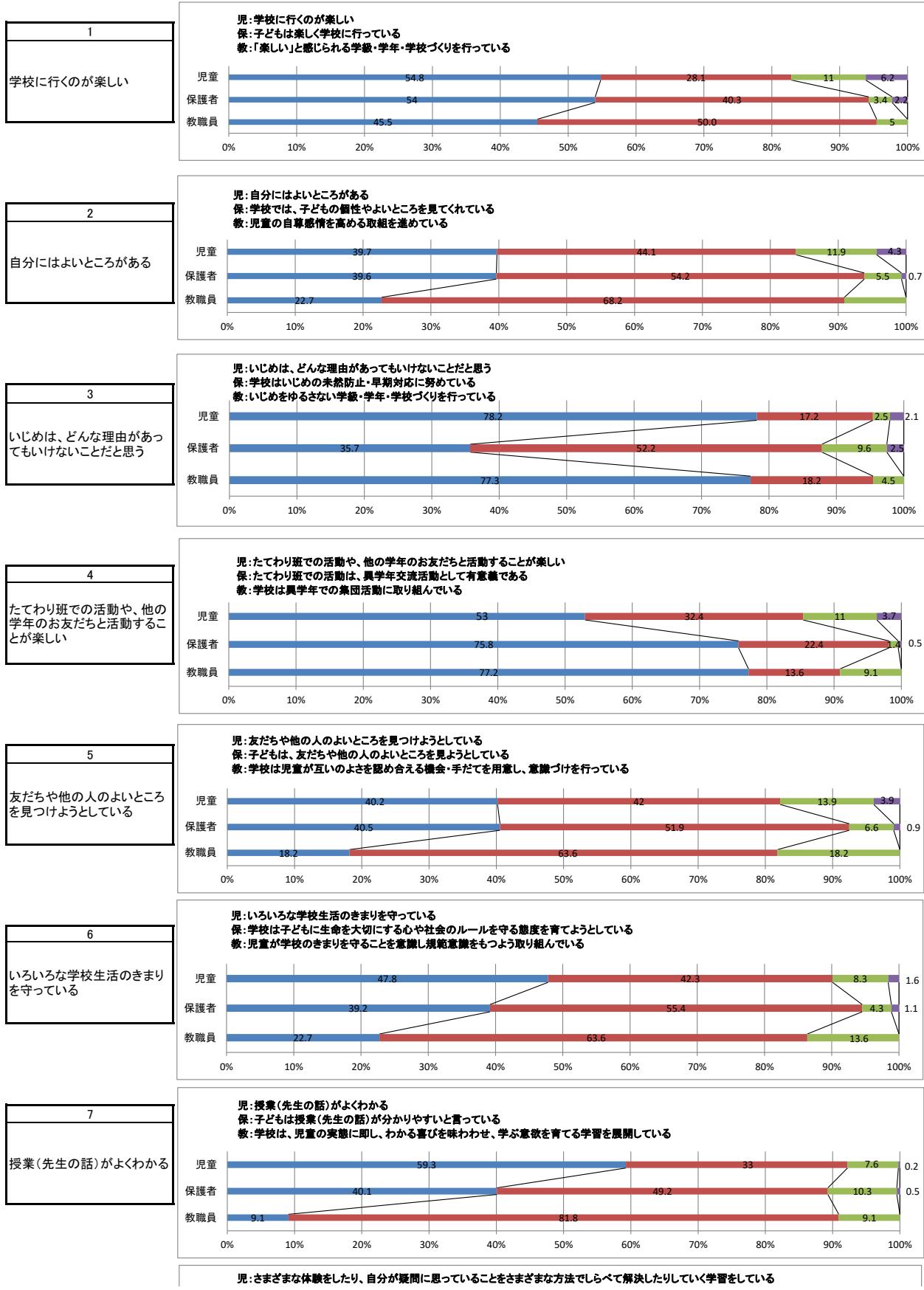
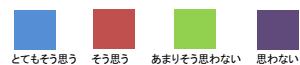
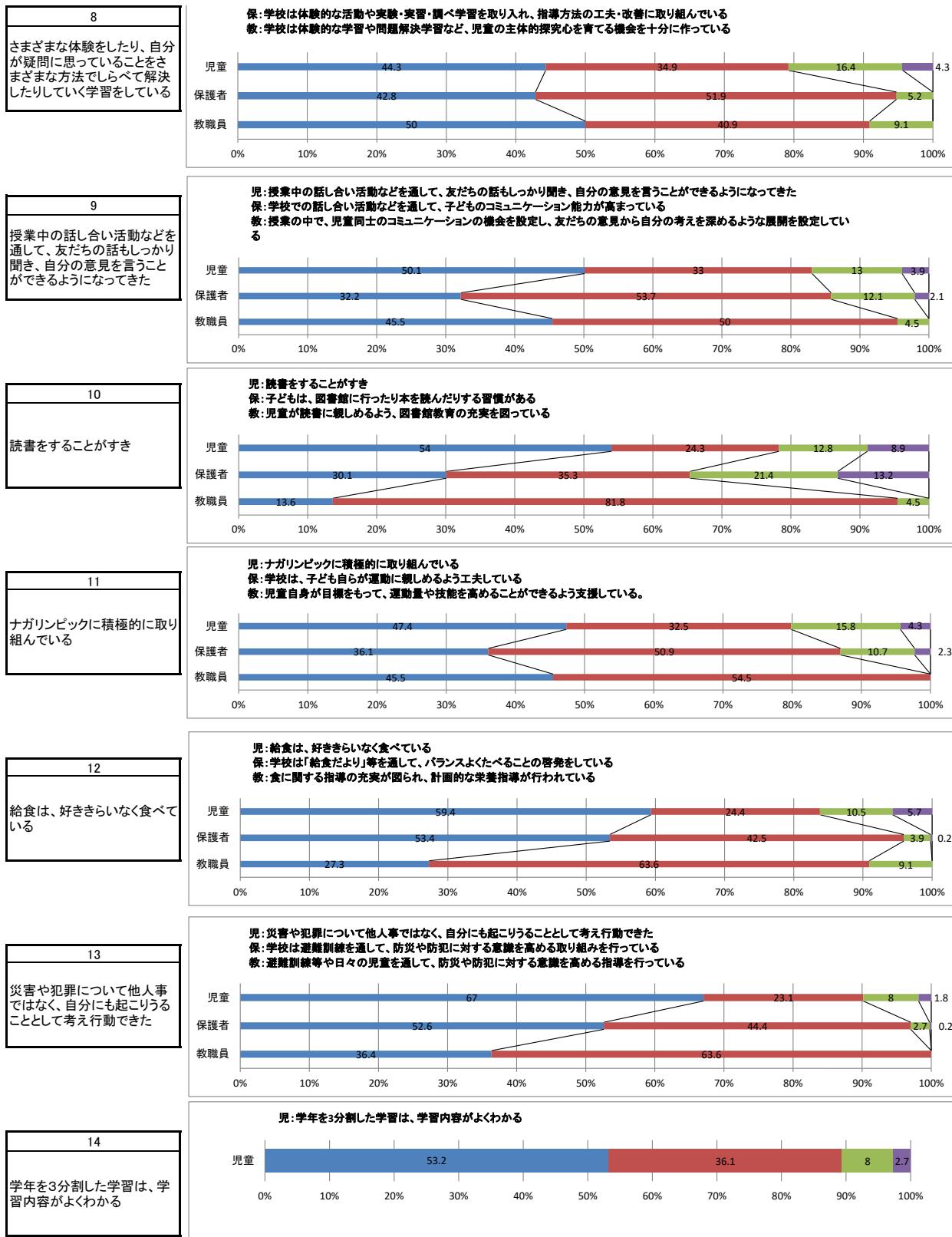


学校評価アンケート の結果





○「学校に行くのが楽しい」という問いに肯定的に回答している児童は82.9%、保護者は94.3%。教職員は95.5%が「楽しい」と感じられるように取り組んでいるという結果である。児童に関しては昨年度よりも8.3%減少している。「学年を3分割した学習は学習内容がよくわかる」という問いに肯定的に回答している児童は89.3%で昨年度より5%減少している。ICTの利用の促進など、授業の工夫をさらにすすめ、児童が「わかる」「楽しい」と感じられる授業にしていくように努める。

○「自分にはよいところがある」という問いに肯定的に回答している児童は83.8%。昨年度よりも4.3%減少している。肯定的に回答しなかった児童の自尊感情を高めるための取組は、家庭と学校を連携し、継続して進める必要がある。学校行事や学習活動、終わりの会、朝会での表彰等、他者から認められる機会を多くもち、自己肯定感を高めるよう努める。

○「授業中の話し合い活動などを通して、友だちの話もしっかり聞き、自分の意見を言うことができるようになってきた」という問いに肯定的に回答している児童は83.1%で昨年度より4.8%向上している。学校全体で昨年度より「主体的に学び、思いや考えを伝え合うことのできる子どもの育成」として授業研究や教材作成に取り組んできた成果が出た。